


本時のねらい (2/14時)
帯小数×整数(一位数)の計算の仕方について、具体物を使いながら考え被乗数が小数でも筆算で計算してよいことがわかる。

評価規準
<知識・理解> 小数×整数の筆算の仕方を理解し、筆算を正しくできる。 <数学的な考え方> 小数の筆算の計算の仕方は、小数を0.1を単位として見ることにより、整数の乗法に帰着できると考える。

段階	学習活動	個のつまずきに対する指導			
問題	<b>1, 問題提示をする</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     1. 2mのひもを3本使います。ひもは全部で何mいるでしょう。                 </div>	○実際に1. 2mのひもを3本用意し、視覚的に問題をとらえられるようにする。 			
見直し	<b>2, 見直しを持つ</b> ○分かっていること、聞かれていることに線を引く ○式はどうなるか考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・1. 2×3で求められそう</li> <li>・どうやって計算したらいいのだろう</li> <li>・昨日と同じように図で考えてみよう</li> </ul>	○「全部で」という言葉に注目させ、合計の長さを求めればよいことをおさえる。 ○わかっていること、聞かれていることを明らかにする。 ○聞かれていることを明らかにする。 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">                     立式することができない                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     同じ長さのひもが3本あることに気づかせる。                 </div> </div>			
課題	<b>3, 課題提示</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     1. 2×3の計算の仕方を考えよう。                 </div>	○今日の式は、帯小数×整数の計算だということに注目させる。 ・前の時間の式とはどこがちがうだろう ○ひもの1mと0. 2mでわかりやすいように色を変える。			
考え	<b>4, 個人追求、グループ交流、全体交流</b> ○一人一人具体物(テープ図)を使って全部で何mになるのか考える。 様相①1mが3つ分で3mになる。 0. 2mが3つ分で0. 6mになる。 様相②1mが3つ分で3mになる。 0. 1mが6つ分で0. 6mになる。 様相③1. 2mは0. 1が12つ分。それが3つあるから 1. 2×3=3. 6    0. 1が3. 6だから3. 6	○テープ図をどうしたらいいかわからない。 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">                     テープ図をどうしたらいいかわからない。                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     メモりに注目してみるといいよ。と助言する。                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ヒントカード1をわたす。                 </div> </div>			
交流	○全体で交流する。 ・0. 1をもとにして考えると1つの式(筆算)でかんたんに答えが出せる (はかせどん)	① 0. 2mが3つ分と0. 2mをもとに考えてしまう。 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">                     0. 2mが3つ分と0. 2mをもとに考えてしまう。                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     前時の学習を想起させ、0. 1がいくつ分かを考えればよいことに気づかせる。                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     テープ図を裏返して0. 1をもとにすると1. 2は1. 2に変身することに気づかせる。                 </div> </div>			
まとめ	○筆算の仕方を知る。 ・整数のかけ算と同じやり方だ。	② 1mと0. 2mを別々に考えてしまう。1mを0. 1をもとにして考えていない <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">                     1mと0. 2mを別々に考えてしまう。1mを0. 1をもとにして考えていない                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     1mが3本分と0. 2mが3本分を別々に考えて合わせなければいけないため、答えを出すことに時間がかかることに気づかせる。                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     0. 1mが全部でいくつあるか考えればよいんだね。「0. 1をもとにすると」にこだわる。                      ・かけ算をはやく、簡単に、正確にできる方法を思い出させる。→筆算                      ・全体で筆算の計算の仕方を理解させる。                 </div> </div>			
力試し	・筆算でやったのと答えが同じだ。 ○「はかせどん」で考え、どのやり方が早く、簡単に正確にできるか考える。 ・筆算で計算するのが一番はやく、簡単、正確だ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 1.2 \text{ と } 3 \text{ をそろえて書く。} \end{array}</math> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 3.6 \end{array}</math>                     整数のかけ算と同じように計算する。                 </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 3.6 \end{array}</math>                     かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。                 </td> </tr> </table> </div>	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 1.2 \text{ と } 3 \text{ をそろえて書く。} \end{array}$	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 3.6 \end{array}$ 整数のかけ算と同じように計算する。	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 3.6 \end{array}$ かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。
$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 1.2 \text{ と } 3 \text{ をそろえて書く。} \end{array}$	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 3.6 \end{array}$ 整数のかけ算と同じように計算する。	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 3 \\ \hline 3.6 \end{array}$ かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。			
振り返り	○全体で4. 2×3の練習問題をする。 <b>5, まとめ</b> ○本時のまとめをする。  ○練習問題をする  ○自己評価をする ・自己評価カードに記入する。	○筆算の仕方をまとめる。 ○くりあがりがある時も整数のかけ算と同じように計算できることをおさえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     小数のかけ算は、筆算を使うとはかせどん。筆算の仕方は、0. 1をもとにすると整数のかけ算と同じように計算できる。ただし、小数点に注意！                 </div> ○計算につまずきのある子には個別指導をする。 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">                     九九の計算につまずきがある。                 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     九九表を用意し、見ても良いことを助言する。                 </div> </div> ○自己評価カードから理解度を把握する。			